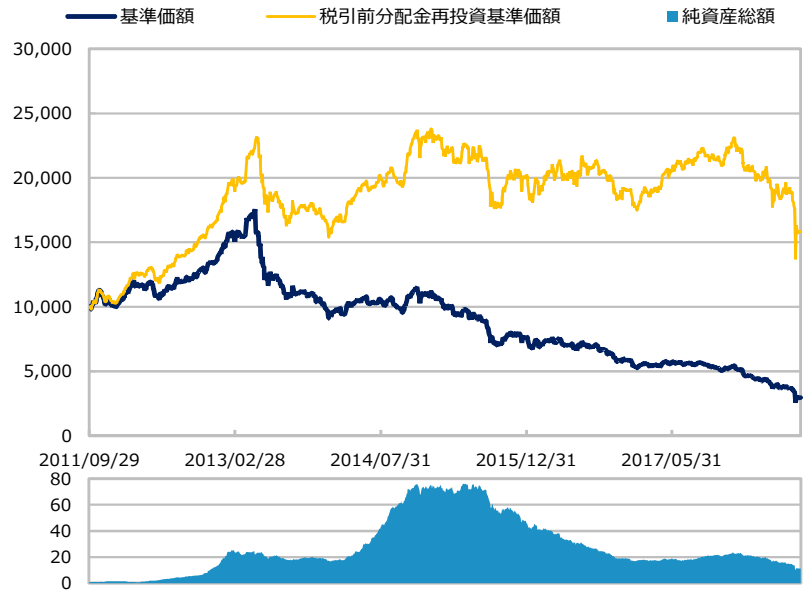
アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／不動産投信　　作成基準日：2018年08月31日

ファンド設定日：2011年09月30日　　日経新聞掲載名：ア好リートリ

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	2,949	-709
純資産総額（百万円）	1,126	-335

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1カ月	2018/07/31	-15.9
3カ月	2018/05/31	-17.1
6カ月	2018/02/28	-24.6
1年	2017/08/31	-27.7
3年	2015/08/31	-16.1
設定来	2011/09/30	58.4

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第79期	2018/04/12	120
第80期	2018/05/14	120
第81期	2018/06/12	120
第82期	2018/07/12	120
第83期	2018/08/13	120
設定来累計		15,010

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	0.0	-95.4
マネー・ファンド	0.0	-0.0
現金等	100.0	+95.4
合計	100.0	0.0

※ 組入投資信託の正式名称は「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト（TRY クラス）」です。
※ マネー・ファンドの正式名称は「マネー・マーケット・マザーファンド」です。

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
リート	+26	+13	+13
為替	-603	–	–
分配金	-120	–	–
その他	-13	–	–
合計	-709	+13	+13

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

実質通貨組入比率（%）

	当月末	前月比
トルコリラ	0.0	-95.1

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用

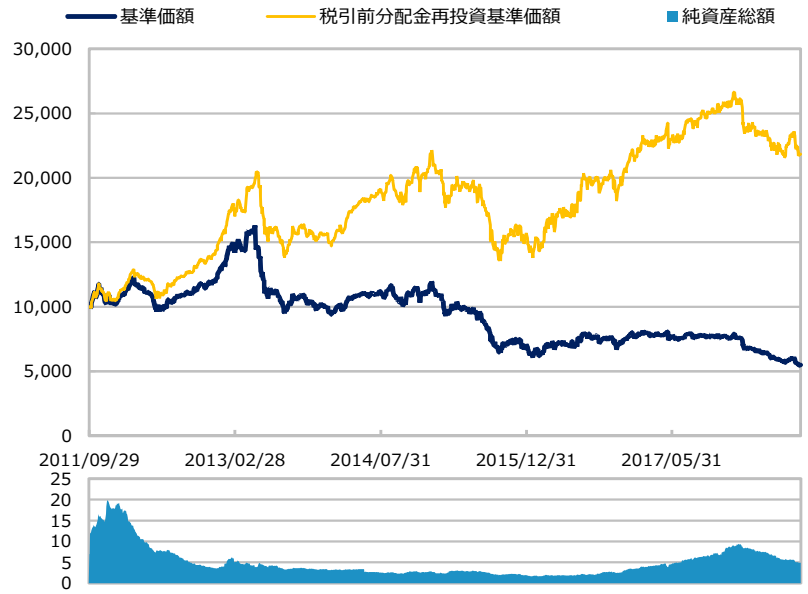
三井住友アセットマネジメント
SMAM

アジア好利回りリート・ファンド・ブラジルレアル

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／不動産投信　　作成基準日：2018年08月31日

ファンド設定日：2011年09月30日　　日経新聞掲載名：ア好リートレ

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	5,489	-505
純資産総額（百万円）	491	-69

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
1カ月	2018/07/31	-6.3
3カ月	2018/05/31	-1.2
6カ月	2018/02/28	-10.0
1年	2017/08/31	-10.3
3年	2015/08/31	37.2
設定来	2011/09/30	118.3

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第79期	2018/04/12	130
第80期	2018/05/14	130
第81期	2018/06/12	130
第82期	2018/07/12	130
第83期	2018/08/13	130
設定来累計		13,160

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	0.0	-95.7
マネー・ファンド	0.0	-0.1
現金等	100.0	+95.7
合計	100.0	0.0

※ 組入投資信託の正式名称は「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト（BRL クラス）」です。
※ マネー・ファンドの正式名称は「マネー・マーケット・マザーファンド」です。

実質通貨組入比率（%）

	当月末	前月比
ブラジルレアル	0.0	-97.7

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
リート	+53	+25	+28
為替	-405	–	–
分配金	-130	–	–
その他	-23	–	–
合計	-505	+25	+28

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用

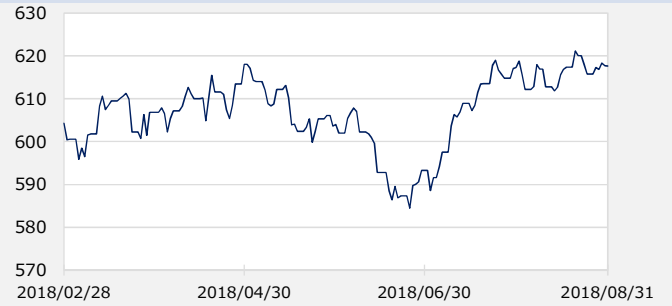
三井住友アセットマネジメント
SMAM

アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ／アジア好利回りリート・ファンド・ブラジルレアル

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／不動産投信　　作成基準日：2018年08月31日

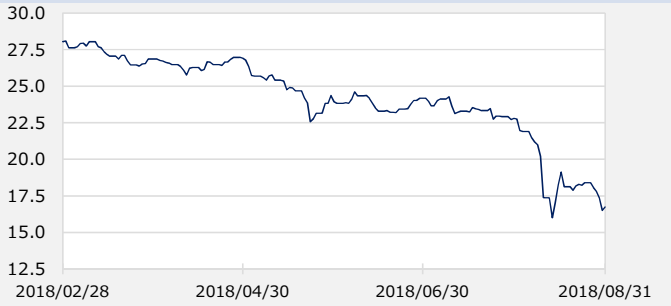
市場動向

S&Pシンガポールリートインデックス



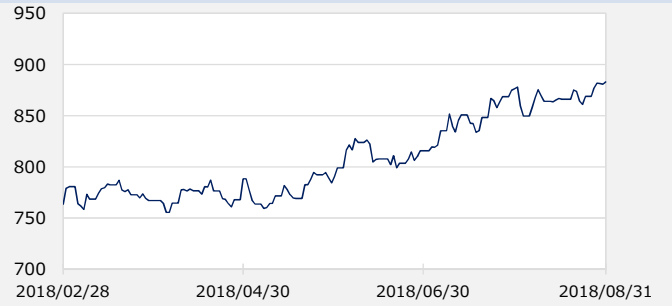
当月騰落率：0.1%

円/トルコリラ（円）



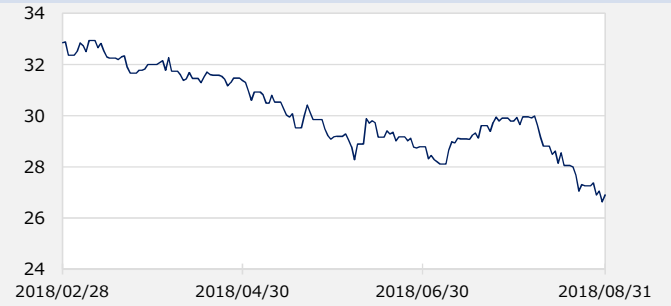
当月末：16.7　前月末：22.8　騰落率：-26.6%

S&P香港リートインデックス



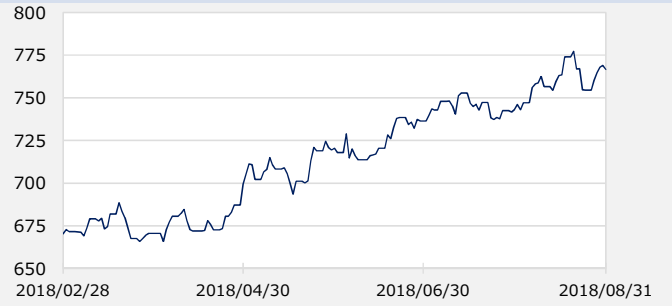
当月騰落率：0.8%

円/ブラジルレアル（円）



当月末：26.9　前月末：29.8　騰落率：-9.7%

S&Pオーストラリアリートインデックス



当月騰落率：3.1%

※ S&P社等のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成。インデックス等は注記がある場合を除き、原則として現地通貨ベースで表示しています。
※ 為替レートはWMロイターが発表するスポットレートの仲値です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ／アジア好利回りリート・ファンド・ブラジルレアル

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／不動産投信　　作成基準日：2018年08月31日

※ このページは組入投資信託をシェアクラスとして含む「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト」の情報を記載しています。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
リート	96.5	-0.1
現金等	3.5	+0.1
合計	100.0	0.0

ポートフォリオ特性値（%）

	当月末	前月比
配当利回り	5.1	-0.1

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。
※ 配当利回りは予想配当利回りです。
※ Bloombergのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成。
※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

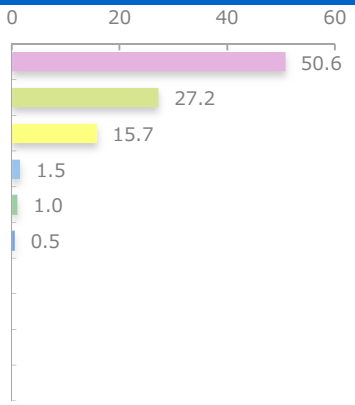
セクター構成比率（%）

	当月末	前月比
小売	36.0	-0.6
産業用施設	23.5	-1.2
複合	13.5	+1.6
オフィス	11.5	+0.0
特殊用途	5.5	+0.2
ホテル	3.5	-0.1
ヘルスケア	1.7	-0.0
その他	1.3	+0.0

※ S&P REIT指数に基づく分類です。

組入上位10カ国・地域（%）

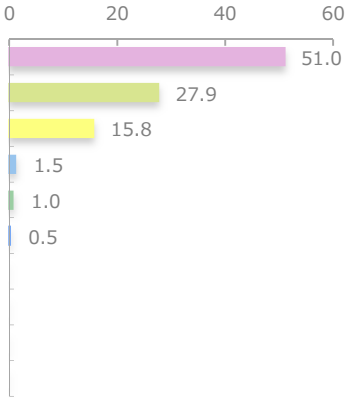
		当月末	前月比
1	シンガポール	50.6	+0.4
2	オーストラリア	27.2	-0.0
3	香港	15.7	-0.7
4	タイ	1.5	+0.2
5	マレーシア	1.0	-0.0
6	ニュージーランド	0.5	+0.0



※ リートの上場市場国に基づいています。

組入上位10通貨（%）

		当月末	前月比
1	シンガポールドル	51.0	+0.5
2	オーストラリアドル	27.9	+0.4
3	香港ドル	15.8	-1.2
4	タイ バーツ	1.5	+0.2
5	マレーシア リンギット	1.0	-0.0
6	ニュージーランドドル	0.5	+0.0



※ 現金等を含めた外貨建て資産の比率です。

組入上位10銘柄（%）　（組入銘柄数　45）

	銘柄	国・地域	セクター	比率	配当利回り
1	リンク・リート	香港	小売	9.6	3.2
2	グッドマン・グループ	オーストラリア	産業用施設	7.6	2.6
3	センター・グループ	オーストラリア	小売	6.6	5.5
4	アセンダス・リート	シンガポール	産業用施設	6.4	5.6
5	キャピタランド・モール・トラスト	シンガポール	小売	5.4	5.2
6	キャピタランド・コマーシャル・トラスト	シンガポール	オフィス	5.2	4.7
7	ケッペルDCリート	シンガポール	特殊用途	3.4	5.1
8	メープルツリー・インダストリアル・トラスト	シンガポール	産業用施設	3.4	5.9
9	メープルツリー・ロジスティクス・トラスト	シンガポール	産業用施設	3.3	6.0
10	メープルツリー・コマーシャル・トラスト	シンガポール	小売	3.2	5.6

地域構成比率（%）

	当月末	前月比
アジア	68.8	-0.1
オセアニア	27.6	+0.0
その他	0.0	0.0

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト」の純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用

三井住友アセットマネジメント
SMAM

アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ／アジア好利回りリート・ファンド・ブラジルレアル

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／不動産投信　　作成基準日：2018年08月31日

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

8月のアジア・オセアニアリート市場は、貿易摩擦やトルコリラ安などの不透明感が続くなかで、底堅い動きとなり、シンガポール、香港、豪州が上昇しました。

シンガポールリート市場は、貿易摩擦やトルコリラ安を巡る新興国市場の混乱を嫌気して株式市場が下落する傍ら、ディフェンシブ性を発揮して月間でほぼ横ばいとなりました。

香港リート市場は、GDP（国内総生産）や小売売上高などといった経済指標が市場予想を下回りましたが、長期金利の落ち着いた動きが安心感につながり、上昇しました。

豪州リート市場は、RBA（オーストラリア準備銀行）による金融緩和を維持する姿勢やトルコの情勢不安などを受けて、長期金利が月間を通して低下し、上昇しました。

トルコリラは、大きく下落しました。従来よりインフレが高めに推移する中、経常赤字もGDP比で5%以上（2017年）となっており、金融市場がリスク回避的な状況になると売られやすい状況でした。エルドアン大統領による中央銀行への干渉姿勢、さらには米国との関係悪化などが売り材料となりました。月間では、対円で1リラ＝22円後半の水準で始まり、16円後半の水準で終わりました。

ブラジルレアルは、大幅に下落しました。新興国通貨全般が米ドルに対して下落した他、10月に控える大統領選挙への不透明感等が嫌気されました。ルラ元大統領は有罪判決のため立候補ができないと見られるほか、ほとんどの候補者は財政再建を重視しておらず、経済立て直しへの期待感が高まり難い状況です。月間では、対円で1レアル＝29円台後半で始まり、当月末は26円台後半で終わりました。

＜運用経過＞

8月の運用（当ファンドが主要投資対象とするサブトラストにおけるリート運用の部分）は、前月末のポートフォリオをバリュエーション（価格評価）上の魅力度、決算内容や業績見通しに応じてリバランス（投資配分比率の調整）を実施し、8月末ベースでは、組入れ銘柄数は45銘柄、組入比率は96.5%程度としています。

なお、当ファンドは2018年9月12日の満期償還に備えるため、8月下旬に主要投資対象とするサブトラストの売却を進めました。

これまでのご愛顧、誠にありがとうございました。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ／アジア好利回りリート・ファンド・ブラジルレアル

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／不動産投信　　作成基準日：2018年08月31日

ファンドの特色

1. 主として、日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。
   ●ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。
   ファンド・オブ・ファンズにおいては、不動産投資信託等の有価証券に直接投資するのではなく、他の投資信託を組み入れることにより運用を行います。

   ※リートとは
   不動産投資信託のことで、英語のReal Estate Investment Trustの頭文字をつなげて「REIT（リート）」と呼ばれています。多くの投資者から資金を集めて不動産に投資し、主にその賃料を基にした利益に応じて配当金を支払うしくみの商品です。

2. 原則として、「トルコリラ」は米ドル売りトルコリラ買い、「ブラジルレアル」は米ドル売りブラジルレアル買いの為替取引を行います。
   ●アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ
   為替予約取引等を活用し、トルコリラ建ての資産を保有するのと同様の為替変動効果を目指します。
   ●アジア好利回りリート・ファンド・ブラジルレアル
   為替予約取引等を活用し、ブラジルレアル建ての資産を保有するのと同様の為替変動効果を目指します。
   ※原則として組入外貨建資産について、組入資産通貨売り、米ドル買いの為替取引を行い（為替取引によるコストが発生します。）、その上で「トルコリラ」は米ドル売りトルコリラ買い、「ブラジルレアル」は米ドル売りブラジルレアル買いの為替取引を行います。
   詳細については、「ファンドの為替の売買方法およびファンドの狙い等」をご参照ください。

   ※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

3. 毎月決算を行い、分配方針に基づき分配を行います。
   ●原則として毎月12日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。
   ●分配金額は、委託会社が分配方針に基づき、基準価額水準、市況動向等を考慮し決定します。ただし、委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

【ファンドの為替の売買方法およびファンドの狙い等】

「アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ」

●為替の売買方法
①組入資産通貨売り米ドル買い（注）
②米ドル売りトルコリラ買い

●ファンドの狙い
・投資対象資産（不動産投資信託（リート））の値上がり益等
・トルコリラと米ドルの短期金利差（為替取引によるプレミアム）の獲得
・トルコリラの対円での為替差益

「アジア好利回りリート・ファンド・ブラジルレアル」

●為替の売買方法
①組入資産通貨売り米ドル買い（注）
②米ドル売りブラジルレアル買い

●ファンドの狙い
・投資対象資産（不動産投資信託（リート））の値上がり益等
・ブラジルレアルと米ドルの短期金利差（為替取引によるプレミアム）の獲得
・ブラジルレアルの対円での為替差益

（注）米ドルの短期金利が組入資産通貨の短期金利を下回っている場合、その金利差が為替取引によるコスト（費用）となります。
※市況動向によっては、ファンドの狙いの通りにならない場合があります。

アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ／アジア好利回りリート・ファンド・ブラジルレアル

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／不動産投信　　作成基準日：2018年08月31日

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドは、投資信託を組み入れることにより運用を行います。ファンドが組み入れる投資信託は、主として海外の不動産投資信託を投資対象としており、その価格は、保有する不動産投資信託の値動き、当該発行者の経営・財務状況の変化、為替相場の変動等の影響により上下します。ファンドが組み入れる投資信託の価格の変動により、ファンドの基準価額も上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。ファンドの主要なリスクは、以下の通りです。

■ 不動産投資信託（リート）に関するリスク

リートの価格は、不動産市況や金利・景気動向、関連法制度（税制、建築規制、会計制度等）の変更等の影響を受け変動します。また、リートに組み入れられている個々の不動産等の市場価値、賃貸収入等がマーケット要因によって上下するほか、自然災害等により個々の不動産等の毀損・滅失が生じる可能性もあります。さらに個々のリートは一般の法人と同様、運営如何によっては倒産の可能性もあります。これらの影響により、ファンドが組み入れているリートの価格が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

投資対象である外国投資信託において外貨建資産を組み入れますので、当該組入資産通貨の為替変動の影響を受けます。外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落（円高）する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動（円高）は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

投資対象である外国投資信託において、原則として、組入外貨建資産について、組入資産通貨売り米ドル買いの為替取引を行った上で、米ドル売り該当取引対象通貨買いの為替取引を行うため、該当取引対象通貨の対円での為替変動の影響を受けます。為替相場が該当取引対象通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。なお、組入資産通貨売り米ドル買いの為替取引および米ドル売り該当取引対象通貨買いの為替取引が完全にできるとはかぎらないため、組入資産通貨および米ドルの対円での為替変動の影響を受ける可能性があります。また、米ドル金利が組入資産通貨の金利より低い場合、該当取引対象通貨の金利が米ドルの金利より低い場合、その金利差相当分の為替取引によるコストがかかります。

■ カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 市場流動性リスク

ファンドの資金流出入に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

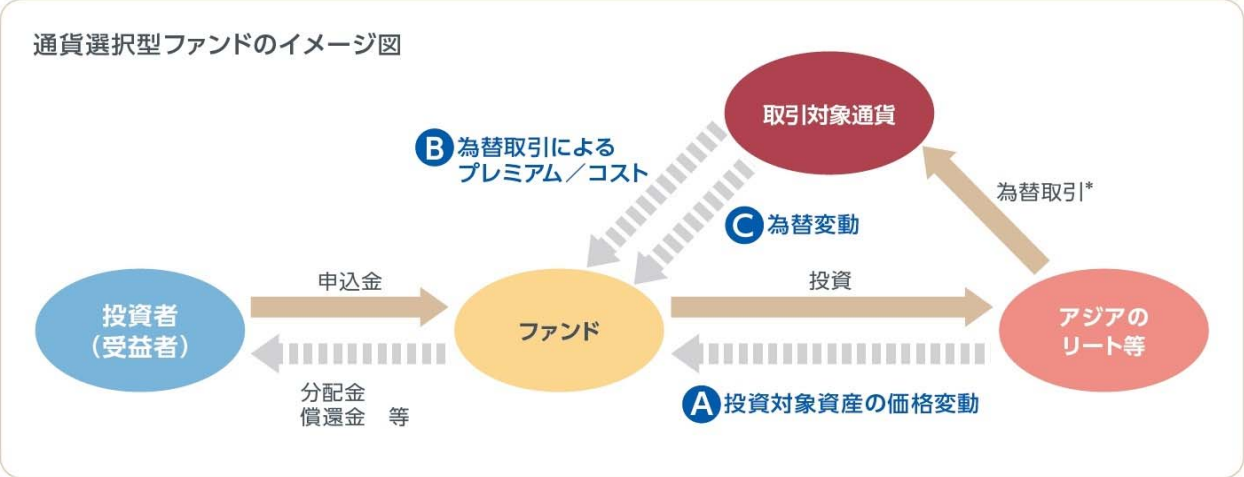
- ファンドの投資対象である外国投資信託において為替取引を行う場合、一部の通貨においては、直物為替先渡取引（NDF）を利用する場合があります。NDFの取引価格は、需給や当該通貨に対する期待等の影響により、金利差から理論上期待される水準とは大きく異なる場合があります。したがって、実際の為替市場や金利市場の動向から想定される動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なることがあります。また、当該取引において、取引先リスク（取引の相手方の倒産等により取引が実行されないこと）が生じる可能性があります。
- ファンドが活用する店頭デリバティブ取引（NDF等）を行うために担保または証拠金として現金等の差入れがさらに必要となる場合があります。その場合、ファンドは追加的に現金等を保有するため、ファンドが実質的な投資対象とする資産等の組入比率が低下することがあります。その結果として、高位に組み入れた場合に比べて期待される投資効果が得られず、運用成果が劣後する可能性があります。
- 投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ／アジア好利回りリート・ファンド・ブラジルレアル

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／不動産投信　　作成基準日：2018年08月31日

通貨選択型ファンドの収益イメージ

■通貨選択型のファンドは、株式や債券等といった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる円以外の通貨も選択することができるように設計されたファンドです。



※上記は、通貨選択型ファンドのイメージ図です。実際の運用は、ファンド・オブ・ファンズ方式により、外国投資信託を通じて行います。

＊原則として組入外貨建資産について、組入資産通貨売り、米ドル買いの為替取引を行い（為替取引によるコストが発生します。）、その上で米ドル売り、取引対象通貨買いの為替取引を行います。詳細については、「ファンドの為替の売買方法およびファンドの狙い等」をご参照ください。また、取引対象通貨が円以外の場合には、該当取引対象通貨の対円での為替変動リスクが発生することにご留意ください。

■通貨選択型ファンドの収益源としては、以下の3つの要素が挙げられます。
これらの収益源には、リターンに相応したリスクがあります。下表の「損失やコストが発生するケース」をよくご確認ください。

		A	B	C
収益の源泉		＝ 投資対象資産（不動産投資信託（リート））の価格変動	＋ 為替取引による プレミアム／コスト	＋ 為替 差益／差損
アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ／ブラジルレアル	収益を得られるケース	投資対象資産の値上がり等	プレミアム（金利差相当分の収益）の発生 取引対象通貨の短期金利 ＞ 米ドルの短期金利	為替差益の発生 取引対象通貨に対して 円 安
	損失やコストが発生するケース	投資対象資産の値下がり等	コスト（金利差相当分の費用）の発生 取引対象通貨の短期金利 ＜ 米ドルの短期金利	為替差損の発生 取引対象通貨に対して 円 高

※市況動向等によっては、上記の通りにならない場合があります。

アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ／アジア好利回りリート・ファンド・ブラジルレアル

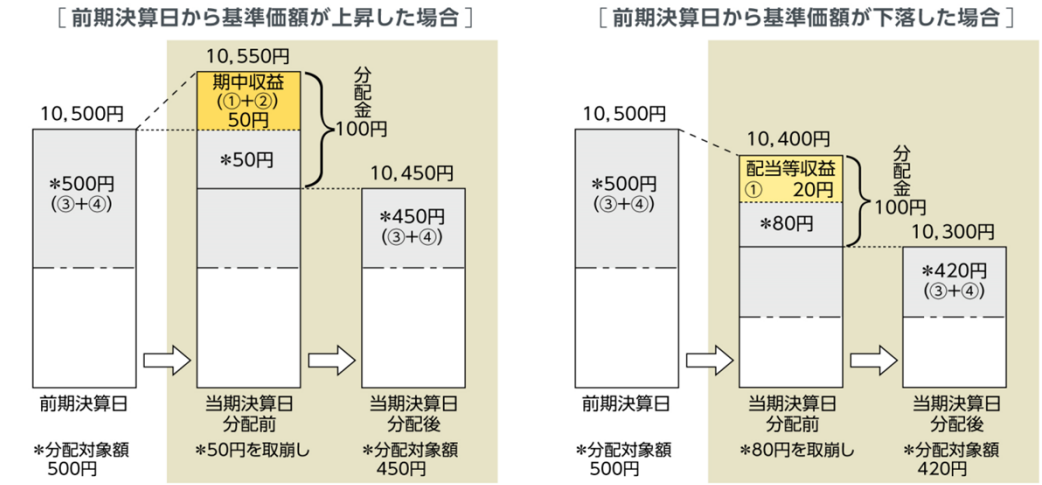
【投信協会商品分類】追加型投信／海外／不動産投信　　作成基準日：2018年08月31日

分配金に関する留意事項

■分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

■分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

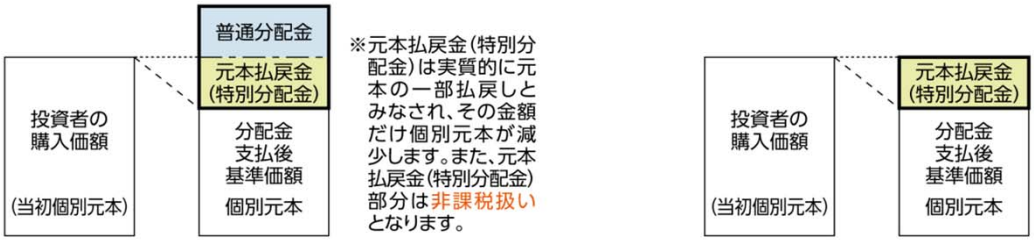
（計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合）



（注）分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意ください。

■投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。



普通分配金：個別元本（投資者のファンド購入価額）を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用
三井住友アセットマネジメント
SMAM

アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ／アジア好利回りリート・ファンド・ブラジルレアル

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／不動産投信　　作成基準日：2018年08月31日

お申込みメモ
購入単位
販売会社または委託会社にお問い合わせください。
購入価額
購入申込受付日の翌営業日の基準価額となります。 ただし、累積投資契約に基づく分配金の再投資の場合は、各計算期末の基準価額となります。
購入代金
販売会社の指定の期日までに、指定の方法でお支払いください。
換金単位
販売会社または委託会社にお問い合わせください。
換金価額
換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額（0.30%）を差し引いた価額となります。
換金代金
原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目以降にお支払いします。
信託期間
2011年9月30日から2018年9月12日まで
決算日
毎月12日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配
決算日に、分配方針に基づき分配を行います。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。 分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。 分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。 ※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。
課税関係
課税上は株式投資信託として取り扱われます。 配当控除の適用はありません。
お申込不可日
シンガポール、香港、オーストラリアの取引所の休業日ならびにシンガポール、香港、メルボルン、ニューヨークの銀行の休業日のいずれかに当たる場合には、購入、換金の申込みを受け付けません。

アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ／アジア好利回りリート・ファンド・ブラジルレアル

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／不動産投信　　作成基準日：2018年08月31日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

○ 購入時手数料
購入価額に3.78%（税抜き3.50%）を上限として、販売会社がそれぞれ別に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

○ 信託財産留保額
換金時に、1口につき、換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.30%の率を乗じた額が差し引かれます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○ 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に年1.1124%（税抜き1.03%）の率を乗じた額です。
※投資対象とする投資信託の信託報酬等を含めた場合、年1.8124%（税抜き1.73%）程度となります。

○ その他の費用・手数料
上記のほか、ファンドの監査費用や有価証券の売買時の手数料、資産を外国で保管する場合の費用等（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）が信託財産から支払われます。これらの費用に関しましては、その時々の取引内容等により金額が決定し、運用状況により変化するため、あらかじめ、その金額等を具体的に記載することはできません。

※ ファンドの費用（手数料等）の合計額、その上限額、計算方法等は、投資者の保有期間に応じて異なる等の理由により、あらかじめ具体的に記載することはできません。

税金

分配時

所得税及び地方税　配当所得として課税　普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税　譲渡所得として課税　換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社　ファンドの運用の指図等を行います。
三井住友アセットマネジメント株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第399号
加入協会　：　一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
ホームページ　：　http://www.smam-jp.com
電話番号　：　0120－88－2976　［受付時間］　営業日の午前9時～午後5時

受託会社　ファンドの財産の保管および管理等を行います。
三菱ＵＦＪ信託銀行株式会社

販売会社　ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ／アジア好利回りリート・ファンド・ブラジルレアル

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／不動産投信　　作成基準日：2018年08月31日

販売会社

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人投資信託協会	備考
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○		○	○		※1
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第6号	○					
株式会社ＳＢＩ証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○		
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○			○		
スターツ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第99号	○					
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長（金商）第1号	○					
髙木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第20号	○					
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第121号	○	○				
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第24号	○	○				
奈良証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第25号	○					
播陽証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長（金商）第29号	○					
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○					
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○		○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○		
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○			○		

備考欄について

※1：「アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ」のみのお取扱いとなります。

アジア好利回りリート・ファンド・トルコリラ／アジア好利回りリート・ファンド・ブラジルレアル

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／不動産投信　　作成基準日：2018年08月31日

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友アセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友アセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■設定・運用

三井住友アセットマネジメント
SMAM